

「原発事故は日本人に何を問うたのか」 ～フクシマ 50 原作者の思い～

東日本大震災で起こった福島第一原子力発電所の事故では、多くの放射性物質が拡散し周辺地域の住民は避難を余儀なくされました。そして、現在でも放射線量が高く、帰還困難区域がまだ解除されていない地域も残されています。

当時、福島第一原子力発電所の事故後、電源復旧に向けて命を懸けた東京電力の社員を描いた「フクシマ 50」の作者が原発事故等についてお話しします。

開催日時等

日 時	2023 年 10 月 18 日 (水) 13:30～15:00		
場 所	旭市商工会館 3F「大研修室」 (旭市口の 795-6 TEL:0479-62-1348)		
内 容	ノンフィクション作家 門田 りゅうしょう 隆 将 氏		
定 員	40 名	締 切	10 月 11 日
参加費	会 員 無 料		



〔講師略歴等〕

1958 年高知県安芸市生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、新潮社に入社。記者、デスク、次長、副部長を経て 2008 年 4 月に独立。代表作に「裁判官が日本を滅ぼす」(新潮社)、吉田昌郎・福島第一原発所長の単独インタビューをもとにした「死の淵を見た男―吉田昌郎と福島第一原発の 500 日」(PHP)、最新刊「新聞という病」(産経以外) 他。

○ホームページ <http://www.chibakeikyo.jp/>にて募集中です。

本書による場合は切り取らず協会事務局まで F A X 下さい。

○お問合せ (一社) 千葉県経営者協会 石田 TEL. 043-246-1158 FAX. 043-246-0729
E メール ishidak@chibakeikyo.jp

参加申込書 (FAX:043-246-0729) 一般社団法人 千葉県経営者協会 御中

開催行事名	「原発事故は日本人に何を問うたのか」		
会社・団体名		TEL	
参加者名①		役 職①	
参加者名②		役 職②	
e-mail			